



希望の

ひかり

第51回

市が実現に向けて取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報をお届けします

今回は、ILC実現に向けた国などの最新情勢および市議会・ILC議連のILC看板設置についてお知らせします。

国などの最新情勢

昨年11月に国際研究者コミュニティから公表されたILC計画の見直し（※）について科学的意義を検証する文部科学省の有識者会議内の作業部会が1月18日、同省で開催されました。作業部会では、欧州合同原子核研究機関（CERN）における実験の進捗状況やILC計画の見直し意義について意見が交わされました。高エネルギー加速器研究機構（KEK）の藤井恵介教授は「CERNでは新粒子の兆候は見えておらず、ILC

Cの重要度が高まった。ヒッグス粒子を大量に作って調べることができるILCでの精密測定こそ、素粒子物理学の進路を示すために最も重要だ」と強調しました。

また、1月8日から11日にかけて、超党派の国会議員による議員連盟を中心とした欧州訪問団がフランスとドイツを訪問。ILC計画実現に不可欠な国際協力体制を構築するため、両国の政府関係者らと意見交換を行っています。

市では、引き続き国の検討状況や国際情勢を注視するとともに、東北ILC準備室や

※整備延長を20キロからスタートし段階的に拡張するという計画で、初期コストを最大40割削減できる見込み。世界の加速器研究所の所長らで構成する国際将来加速器委員会（ICFA）で承認された

県などの関係団体と連携しながら、ILC実現に向けて全力で取り組みます。

ILC看板 市内各地に

ILC誘致に向けた機運を高めるため、市議会・ILC誘致推進議員連盟（渡辺忠会長）は市内各地にILC看板（縦1・5メートル×横6メートル）を設置しました。看板には、設置場所の地元中学校などの生徒がデザインした絵を使用しています。



看板はそれぞれ衣川保健福祉センター前（上段左）、江刺区藤里地内（上段右）、前沢中学校（中段左）、江刺区玉里地内（中段右）、胆沢総合支所（下段）に設置

おっしょーヒッグスくん ILC絵画コンクール 市内入賞作品紹介 2

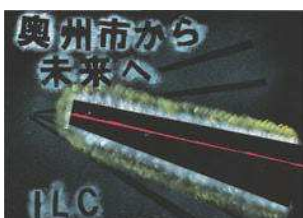
【高学年の部】

佳作



水沢小学校4年 高橋 晴斗 くん
「岩手の自然と岩手の科学」
岩手で守っていききたいものと発展させていきたいものを描きました。

佳作



衣川小学校4年 高橋 千裕 さん
「奥州市から未来へ ILC」
光りの筋を目立つようにしました。

佳作



衣里小学校6年 小野寺 ウンセン さん
「宇宙の始まりのなぞを!!!」
いろんないろでカラフルにしあげました。

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。
■問い合わせ先 本庁・ILC推進室（内線4115、FAX 0252-25253、E-mail: ilc@city.oshu.iwate.jp）